

四谷地区協議会コミュニティ・文化・スポーツ分科会会議録

平成18年度第9回

開催日	平成19年2月16日
出席者	分科会員6名、オブザーバー1名(生涯学習財団職員) 四谷特別出張所長、同担当者 計9名
テーマ	・「地域ガイドブック」作成における今後の活動内容について
決定事項	・地域ガイドブックの方向性や作成のための調査方法等について検討する必要があるため、他分科会等の担当者が次回以降、当分科会に出席するよう役員会で依頼する。
主な意見等	<p>1 情報・意見交換について 育成会と連携して実施予定の「あいさつ運動」について、3月15日の「育成会全体会」で育成会が各関係団体と意見交換の予定。 3月25日の地域センター「ふれあい祭り」を利用し、1Fロビーにて地区協議会のPR展示を実施したいという案がある。 地域センターへは依頼済。 新宿区基本構想、基本計画及び都市マスタープランの骨子案について各分科会から区に提出した「新宿区基本構想、基本計画及び都市マスタープランの骨子案」への意見は、残念ながらあまり反映されていないとの報告があった。</p> <p>2 今後の活動内容について 地域ガイドブック作成は当分科会が中心で作成するが、各分科会等の意見を十分に反映させるため、各分科会等において地域ガイドブック作成担当委員を選出してもらい当分科会に参加してもらうよう要請する。</p> <p>(1)作成に向けての課題 地域ガイドブックの部数、ページ数、配布方法 編集方法(どこまで委員で行うか) 掲載内容・方向性 (例)・区発行の便利帳から特に身近な情報を抽出し、四谷の地域情報を加えたもの ・便利帳にはとらわれず、四谷の地域情報を中心としたもの 情報収集方法</p> <p>(2)意見等 内容から言って、どこかの分科会を中心に検討・作成する・・・というのはなじまない。各分科会等が担当者を出し合い、実行委員会形式にしたほうが良いのでは。 地域ガイドブック作成において、一律に各分科会から担当者を出す、とは言っても分科会によってはガイドブックとの関連が小さいところもある。そういった方が参加するよりも、関連の深い分科会だけで行ったり、新しく委員を募集する方が良い。 あまり大勢集まっても話がまとまらなくなる可能性がある。 委員だけで情報収集するには限界がある。各町会や管内各団体にアンケートをとることが大切。それぞれの目線で見ると四谷の情報が集まるはず。 情報収集・分析をノウハウのあるNPO等に委託する方法もある。 まず四谷地区のあらゆる地域情報を集め、四谷地区の情報の傾向や特性を分析すると方向性が見えてくるのでは。 地域が望む情報を取り入れなければならない。「地域」ということなのだから、町会の協力が必要。町会の区分がわかる地図や紹介ページ等も載せたい。 四谷地区で起きている問題(不法投棄や放置自転車等)を地図付きで掲載し、地域に問題提起したい。 当分科会本来のテーマは「コミュニティ・文化・スポーツ」であるから、スポーツや祭り等の情報を載せたい。 補助金申請の関係で、3月末までにはガイドブック作成の事業計画のたたき台を作成したい。</p>
次回日程	3月16日(金)午後2時から 四谷特別出張所会議室